

令和8年度 先駆的事業
(そにっとキャンプ・出会いのキャンプ)

- [主 催] 国立曽爾青少年自然の家
[後 援] 奈良県教育委員会、名張市教育委員会、
宇陀市教育委員会
[期 日] 令和8年7月11日(土)～7月12日(日)
[場 所] 国立曽爾青少年自然の家 及び その周辺
[対 象 者] 発達に特性がある児童生徒や不登校など集団(学校)生活に困り感のある小学校4年生～中学校2年生の児童生徒とその保護者きょうだい
[参加/募集] 児童生徒16名・保護者20名・きょうだい8名
[講 師] 赤木和重氏(神戸大学 教授)
松田千春氏(森林セラピーガイド)
浅居春奈氏・黒田美恵氏(そにっとキャンプ OB 保護者)
岩見澄江氏(地域の居場所「そのままおいで」代表)
[担 当] 増田学・菱川裕輝・山本朱音(企画指導専門職)
大向満・百田恵美・畠山朝浩(事業推進係)



1 趣 旨

参加者プログラムでは、自然体験や自由な活動を通して、それぞれが自分のペースで過ごしなが、仲間やスタッフとの出会いや関わりを楽しむ機会とする。保護者プログラムでは、研修や交流を通して気持ちや経験を共有し、支え合う関係づくりを図る。また、きょうだい児プログラムでは、安心して過ごせる体験の場を提供し、保護者が安心して学びや交流に参加できる環境を整える。

2 ねらい

- ① 新たな出会い(人、自然、体験)に慣れ、それぞれのペースで楽しむ。
- ② 秋のキャンプに、(家族がいなくても)参加したいという意欲と期待を育む。
- ③ 困り感をもつ保護者が繋がり、時には頼ることの大切さに気付く。

3 プログラム展開

7/11 (土)	10:30 受付	11:00 始まりの会	12:00 昼食	13:00 野外炊事	18:00 入浴	19:00 キャンプファイヤー	21:00 就寝
7/12 (日)	6:30 起床	7:30 朝食	9:00 川遊び	13:00 ふりかえり	14:00 終わりの会	14:30 解散	

4 活動の様子



野外炊事



川遊び



お弁当



講義(保護者プログラム)

5 まとめ(アンケートより・趣旨やねらいに対してのふりかえり)

- ・子どもからは、「参加してよかったと思った」「はじめはきんちょうしていたけど、すごく楽しかった」「また来たい」など、新しい出会いに慣れ、次回のキャンプを楽しみにする様子がみられた。
- ・保護者アンケートでは、「不安やモヤモヤがすっきりした」「子どもの成長する姿に勇気をもらった」「学校や家庭では見られない姿を知ることができた」「親と離れることで自立心を持つことを再認識した」「心にゆとりをもって接していきたい」といった声が寄せられた。
- ・参加者・保護者・きょうだい児それぞれにとって、新たな出会いや気づきの機会となるとともに、「安心・共感・頼ること」を土台とした関係づくりの第一歩となるキャンプとなった。